

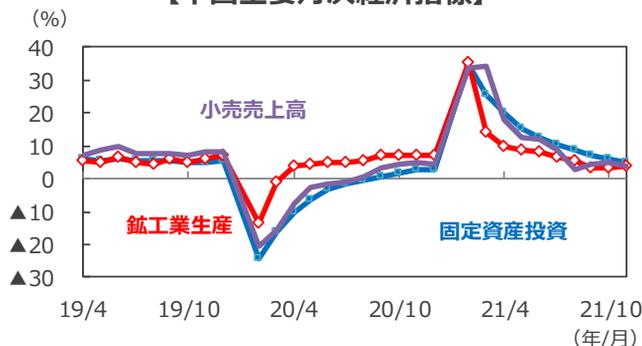


今日のトピック 中国の生産は伸び加速、消費と投資は減速  
中国政府の景気支援策で安定的な成長へ

ポイント1 生産は伸び加速

- 中国国家统计局は15日、11月の主要な経済指標を発表しました。鉱工業生産は前年同月比+3.8%と市場予想をやや上回り、前月の+3.5%から伸び率が小幅に拡大しました。政府の環境規制による電力の供給制限が和らいだことなどから、全体として底堅く推移しました。新エネルギー車や産業ロボットなどのハイテクセクターの生産が引き続きけん引しました。
- 新型コロナの影響を受けた昨年の反動を除外するため、2年間の幾何平均で見ると、鉱工業生産は+5.4%と2カ月連続で持ち直しています。

【中国主要月次経済指標】

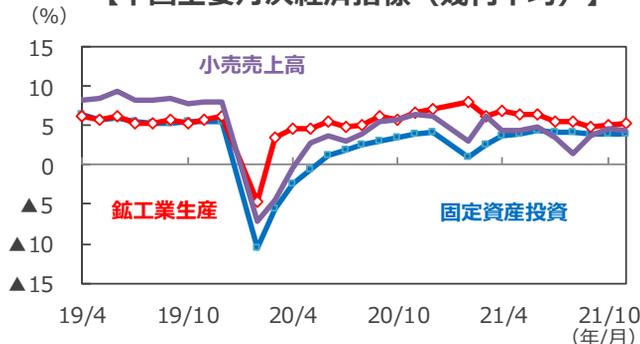


(注) データは2019年4月～2021年11月。前年同月比。  
固定資産投資は年初来累計の前年同期比。  
各年2月のデータは1～2月の年初来累計の前年同期比。  
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 消費と投資は減速

- 一方、小売売上高は前年同月比+3.9%と市場予想を下回り、前月の+4.9%から伸び率が鈍化しました。新型コロナの感染再拡大の影響で飲食業などが減速しました。
- 固定資産投資も前年同期比+5.2%と市場予想を下回り、前月の+6.1%から伸び率が縮小しました。政府の不動産規制や不動産大手の経営問題の影響で不動産開発投資が引き続き減速しました。

【中国主要月次経済指標（幾何平均）】



(注) データは2019年4月～2021年11月。上記グラフの2年幾何平均。  
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 中国政府の景気支援策で安定的な成長へ

- 中国の共産党・政府は8～10日に、2022年の経済運営方針を決める「中央経済工作会議」を開催し、成長率の安定を重視する姿勢を改めて強調しました。穏健な金融政策と積極的な財政政策という大きなフレームワークを継続しつつ、不動産投機抑制の規制は継続するものの、中低所得層向けの住宅開発は推進するなどの修正を行い、景気への配慮を示しました。
- 中国の11月の主要な経済指標は、まちまちの動きで全体としては力強さを欠くものの、中国政府の景気支援策により経済の大きな下振れは回避され、先行きは安定的な成長に向かうとみられます。

ここも  
チェック!

2021年11月16日 中国の10月の生産、消費は予想を上回る  
2021年10月19日 中国の7-9月期GDP成長率は4.9%に減速

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。